

石区



北東白石地区

北都町内会

北都町内会 会長

豊間根 一雄さんに
お話をうかがいました！


● 地域の特徴 ●

北都町内会（北東白石地区）は、加入世帯数1,950世帯からなる町内会です。戸建て住宅が多く、長くこの地域に住む方も多くいらっしゃいますが、世代交代が進み、若い世代・子どもの数も増えています。

北都町内会では、日頃から高齢者等の見守りを行っており、訪問による見守りは民生委員が、外からの見守りは町内会役員が行っています。見守りをする中で心配な方がいた際は、適切な支援・サービスにつながるよう町内会から関係機関につなぐこともあります。

若い方にも町内会のことを知ってもらうため、町内会の Instagram や公式 LINE を立ち上げ、行事の様子や回覧版の内容を投稿しています。

また、班長は輪番制にしているため、若い方も活動に関わっています。

災害時に備えて

東日本大震災の時に仙台で地震を経験し、特に防災に力を入れており、町内会で避難所の運営方法について学ぶ研修会を行っています。

また、『災害時要配慮者避難支援』の取り組みとして、住民へアンケートを行ったところ、要配慮者（災害時に配慮が必要な方）が多くいらっしゃるわかりました。災害時に特に支援が必要な方と支援出来そうな方をつなぐ作業をしていますが、個人情報の問題もあります。その壁を越えて、北都町内会がモデルケースになり、他の地域にも広がっていくことを目標としています。



秋まつり（子ども神輿）

活動にあたって大事にしていること

活動にあたっては、様々な考え・価値観がありますのでトップダウンにならないよう、各専門部会の意見をふまえながら活動していきたいと考えています。



町内会（班長等）を対象とした見守り研修会